

千葉県立郷土博物館視察（令和7年度第3回博物館協議会）報告

日時：令和8年2月5日（木）14時～16時

会場：千葉県立郷土博物館（千葉県千葉市中央区亥鼻1-6-1）

参加者：木原会長、正法地副会長、川口委員、高見澤委員、大木委員

※【事務局】郷土資料館 金子館長、山本館長補佐、小田主査

飛ノ台史跡公園博物館 河野館長、狩野副主査

【オブザーバー】文化課 白井課長補佐

ご対応者：千葉県立郷土博物館 芦田館長、長原副館長

内容：1. 展示の視察

2. 千葉県立郷土博物館における取組のご説明

視察概要：

14時に集合したいずれも学芸員としての経験が豊富な日本近世史専攻の芦田館長および考古学専攻の長原副館長から説明を受けながら、最上階である5階から下の階に降りていくという動線に沿って、令和7年11月8日にリニューアルオープンした同館の展示を視察した。

まず、5階の「ちば一望ラウンジ」において、千葉市の歴史に関する年表と市街地の眺望の変化を確認し、4階の原始・古代エリア、3階の中世エリア、2階の近世及び近現代エリアという順で、時系列に沿って、展示の工夫や来館者の反応、同館における展示と他の事業との連関についても説明を受けた。最後に設けられた質疑応答の時間では、リニューアルした展示の内容と千葉市史編さん事業の関連についての言及もあった。